

常新新聞

刊夕日十三月六

定部金貳圓 廣五號十二 休日曜大祭
 一ヶ月廿圓 料字詰一行 刊祝日ノ登
 價郵稅五厘 料五十五圓 日刊日ノ登

福島縣石城郡平町長橋町三五
 發行所 常警毎日新聞社
 電話六三〇番

本社下同番地 (電話六三〇番)
 印刷所 常警毎日印刷所

十姉妹の將來 (三)

古川 龍城

或る人駭して曰く、家畜
 家禽は國家有益の事業であ
 るが、飼鳥は單に娛樂にし
 て政府などが、その發展に
 盡力するなどは以つての
 外だと云ふものもあるが、
 これ一を知つて、二を知ら
 ない短見者流の迷論であつ
 て、既にして小學校の修身
 で、酒、煙草の害を説く一
 方、大藏省は專賣局を設け
 て盛んに煙草を國民に愛用
 してくれとせがむ。筆者の
 住宅の近くに煙草工場があ
 り、何時もその大煙突から

常警毎日新聞

黒煙が濛々として立ち上つ
 て居るが、附近の小學校の
 先生は、それを仰ぎ乍ら、
 煙草を喫することは宜しか
 らず云々の教訓を生徒に與
 へて居る。

又酒とても、その税によ
 つて大藏省は大儲けして居
 る有様。一方又學校では奢
 侈を戒めて居るが、農林省
 に蠶業試験場あり、文部省
 に一つの蠶糸専門學校、二
 つの高等蠶絲學校があり、
 蠶糸の絹絲を作つて、國
 民も着よ、又外國人にも着
 せよと大汗で勸告して居る
 又小鳥が奢侈なら花卉も贅
 澤であるのに、農林省には
 園藝試験場を置いてその中

で花の栽培もやつて居る。
 (つゞく)

優美鮮明
 敏速可嚙

活版印刷の
 御用命を御
 願致します

常警毎日印刷所
 平町長橋三五
 (電話六三〇番)

霜降小倉 學生服大特賣

小學用

- 六七歳位 一、一〇
- 八九歳位 一、二〇
- 十歳位 一、三〇
- 十一二歳位 一、四〇
- 十三四歳位 一、五〇

中學用
 二圓二十錢ヨリ 各種
 なかや洋服店
 平二丁目(電二〇三)

黎明の里

六卷
 瀨川銀潮、横山隆吉助演
 マキノ・帝キネ映畫
 一日……
有聲座

初夏 特選名畫大會

納涼
 ◇マキノプロダクション小
 室作品
 萬天下女性の憧れ……
 月形龍之助主演
 甦生復歸第二回映畫
 心中 **雲母坂** 十卷
 大衆作家直木三十五氏原作
 マキノ俊才秋篠柵次郎監督
 久利富周介、杉狂兒助演
 帝キネ 松本田三郎 一流の
 劍戟王 大殺陣
 百鬼 **亂魔** 八卷
 夜行 劍の祟り妖刀の呪ひ其處に
 修羅の巻を作り亂魔の天地
 を展開す
 小笠原プロダクション製作
 マキノプロダクション提供
 日本一 高島愛子主演
 猛女優 高島愛子主演
 活劇 **我は海の子** 八
 原田龍次、瀧田靜枝助演
 名花澤蘭子主演

中形浴衣 特價品

六月十日ヨリ

手拭地 八十錢
 白染緋 九十五錢
 縞中形 二圓十錢

涼……美……粹……
 レーヨシ製
 縞縮緬襟二十八錢
 アミ衿 十六錢
 女袖 四十錢

中野吳服店
 電六七番

夏の涼み 蓄音機とレコード

タイムを尊じこ
 する時計は
會田時計店
 電話三六三番

腦と生殖器の藥 エキスピリン

世界的第一大發見劑(藥丸エキス)
 ころも頭がボンヤリする方
 老衰を恐怖する方
 夜良く寝むれぬ方
 精力減退の方
 記憶力の悪き方
 遺精の悪き方

定價 五十圓
 價十圓
 金廿圓

發賣元 東京芝區宇田川
 東京ラヂオレーヤー株式會社藥品部
 平町田町
宇佐美藥局
 電話五五一番

修繕ト鍍金

扇風機 電動機 變壓器
 諸器の鍍金及つやだ
 し
 右最も親切丁寧迅速に尙御
 通知次第出張致します
 平町七丁目
正金商會

加藤營業所

白銀町 電話三三二番

神戶海上運送保險株式會社
 東洋海上火災保險株式會社
 共保生命保險株式會社
 貸家部案内
 平町仲間町 勤人向
 一〇、〇〇 六六三ノ三間
 同 柳町 同 六六三ノ三間
 同 七、五〇 同 六六三ノ二間
 同 同 同 六六三ノ二間
 六、〇〇 同 六四半ノ二間
 内郷村小島 同 六四半ノ二間
 八、〇〇 同 六六、八ノ三間
 其他風呂場物置附
 同 同 同 同

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平南町(電話一七〇番)

平町紺屋町
藤沼醫院
 電話園五〇七番

内科 小兒科 花柳科 (病科入) (需應院入)
 科

磐城セメント

磐城セメント會社特約店
 金物問屋 **釜屋商店**
 磐城平町五丁目 電話九番 一三九番
 ▼良品廉賣、勝る商譽なし△
 ▼確實敏捷は釜屋の生命なり△

賣れ行きが事實を證明する
 品質聲價共に拔群の!!
漁遊會事務所
 松崎 自動車内

靴とカバン 革製具類

特に學生靴の耐久力を御使用の上御
 試し下さい
 平町搔地小路(役場前)
福山靴店

新舞子漁遊會々員募集
會費五十拾錢
 自動車往復 投舟地 網遊引 打覽網
 毎月第二日曜日午前七時ヨリ十時迄に出
 發午後四時歸着
 右五百名ヲ限り募集ス希望者ハ平町一丁目松崎自動車
 部迄テ申込アレ

平町の電話架設費

一割以上の引下げ

七月十一日から廿日間受理

申込數に按分配當

本年度普通電話の新規加入申込受理は七月十一日より廿日までの廿日間一齊に受理される事になつたが問題となつて居た

架設費

寄附金は一割前後の引下げを行ふ事となり平町は従來五百五十圓であつたが四百八十圓に低下した其理由は器具機械の價格低落のためであるといふ而してその代理として前年度までの電話に對しては使用料を或る期間免除しやうといふ案は實施されぬらしく

動員事務

平署管内の

福島隊區司令部附岡見少佐は本日午前九時から平署に於て同署管内の動員事務檢閲を行つた

養鶏經濟

石城郡農會で

石城郡農會で大群養鶏の經濟調査を同郡泉村木屋阿部長谷次氏に囑託し目下四十坪の鶏舎に七百羽の白色レグホンを飼育してゐるが毎日四百から五百の卵を生み成績極めて良好である

申込數

に按分して決定する事になつたらしく發表は早くも七月下旬の見込です

自動車を飛ばし

警察部長 來平

二日に歓迎會 既報別宮本縣警察部長は本

關係から署長更迭を機に排斥をなすべく密かに潜行運動をなしてゐるとの事を知つた四ツ倉町の青年は水谷署長留任運動を開始し二

益景氣を達觀して

平の商店氣色ばむ

引續き漁農村の活況から 案外順調に決濟

平町地方は引續き附近漁村の豊漁から自然活氣を呈し各商店何れも相當の繁忙を極めてゐるが一方農村も養蠶の一段落と相俟つて昨今

米相場

がメキメキ 奔騰の一途を辿つてゐるので中流以下には在庫米少きも相當の米を抱擁してゐる農家もあるの之れ等が弗々賣出され金融界も順調に推移してゐるから各方面の決濟等も案外圓滑に行はれ得べく從來の

不安は

目先一掃の形となつたので益景氣は意外の活躍を見るに至るべく豫想されてゐる

連結手の奇禍

石城郡鹿島村大字上矢田平驛連



欄庭家

血壓を下げる 胡瓜の變つた喰べ方 イワキ食堂主

瓜類の中で、最も廣く、一般に多量に用ひられ、そして

十九日別宮警察部長が巡視のため來倉を好機とし管内有志の調印を求めて水谷署長留任陳情書を提出する由である

畑地同様に

小名濱水不足

石城郡小名濱町玉川地方の水田三十余町歩は早魃で灌漑不足のため田面龜裂し甚だしきは畑のやうになつて塵埃の立つてゐるところもあり全く植付不能となり又辛うじて植付けた約二十町歩は水不足で枯死に瀕する慘状を呈し目下關係農民は雨乞ひをしてゐる

養蚕教師の

看パンを掲げ

不良を働く 縣から告發

石城郡草野村養蠶教師鈴木喜三平(三七)は本縣養蠶教師規則第十條第三號に概當するものとして二十九日縣から告發近く處罰されることになつたが同人は同地に養蠶教師の看板を掲げ何等養蠶に經驗のない石城郡大野村居住日雇業武田周吉を養蠶教師と稱し自分の指導區

兎の耳

奇抜な死刑囚を決定する珍名案ソレは年來の宿望叶つた大元帥張作霖の就任に當り囚人の大赦を行ふことに決し研究の結果東三省では死刑囚と無期徒刑囚とで決死隊を編成しこれを戰場に送つて第一線に立たせ敵に當らしめ生殘つたものは無罪放免されるさうな

の實を取り去り、尙ほその各々を半分に分けて、小口から横に一二分の厚さに切り、引肉と共に醬油と味噌とで煮るか、汁の實にするとか、ゴツタ煮の中に入れてとか、すべて玉葱や大根や、人参と同様な用ひ方にして、例へば先づ皮を剥いて、縦に半分に分けて、中

田植の終り

これから除草期 一般農家へ注意

野村技師語る

漸く田植もをへこれから草取である、此除草が亦農家の辛いことであるが其の反面には除草の時機と適法の宜しきが如何によつて收穫には大影響がある近時機械の發達に連れ

機械々々

と一切を機械でかたづけようとする之は經濟上からして甚だ嘉すべきことながら適機を適當に使用することを忘れた

が故却つて弊害を招く場合が除草などは殊に注意を要する近年の水田を昔に比べて稗の多いのは明かに機械使用から來る弊害である除草は手取が最も

理想とす

るが普通の一番は田打車、三番は整地除草器、四番五番が手取と云ふのが適當である一番除草は植付後二週間に田打車で廻る若し此の時期より

後れると、折角張つた根を切斷し、回復を遅らし取返しのつかぬことになる

此の目的

は除草は第二で、中耕にある土を深く反轉させ土壌を軟かにし稻根の伸張を助け肥料の分解を促す二番は、一番廻後五六日を置いて手取で廻る植付は浅植が理想であるが深植になり安から此時稻根の土を掻き除けて淺深に直し稻株の周囲を初めとし

草を除き

かぶを補植し株に混じてゐる雜草稗馬鹿苗を去り病蟲を驅除するが目的である。三番以下は其後二週間に置いて廻り、稻根を切らぬ様株を損せぬ様注意し淺く只草を除

くを目的とする之は手取でとるが三番だけは便宜

整地車を

使用して もいい若し三番廻り以後に深く耕して稻根を切れば稻が若返り收穫に於て甚だ減收となるから最も注意を要す、大體右の如き順序で四回乃至五回の廻り止め草は七月中遅くとも八月五日頃までは終らなければならぬ、概して

稻作専門

の農家は 田の草取に注意するが養蠶麥作等を多くする所では田植直後に忙しいものだから除草を等閑にし一番除草を植付後四十日も経て初めて廻るものがあるけれど之れは秋に於ては取返しの出來

ない減收を招くものである從來除草は雨天の日を特に選んだ

悪習があ

るけれど 晴天の日に水をよく潤して土壌をあたらむのが理想である中には草がはたてゐるからとて穂をはらみ或は出穂の後に取る人もあるが之れは草をはやしておくと悪い、苗を本田に移植してからの注意は大體右で盡るが

苗の中に

雜草や稗の混じてゐるのは苗代の注意が足りないからで苗代の除草は回数が多ければ多だけ宜しく草の結實せぬ中に除かなければならぬ(野村石城郡駐在産業技師談)